



## Ⅸ 資料

### 1 2023年度計画

#### I 教育に関する目標を達成するための措置

##### 1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

###### 【項目番号1】

- 両学部<sup>1</sup>の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。
- 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

〔指標〕 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

###### 【項目番号2】

- 学際教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養う。特に英語については新入生に対するTOEIC<sup>1</sup>試験を実施する。
- 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

〔指標〕 TOEIC受験率（1年次）：100%

〔指標〕 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

###### 【項目番号3】

- 〔デザイン学部〕カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

〔指標〕 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

###### 【項目番号4】 【重点取組項目】

- 〔デザイン学部〕3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

〔指標〕 専門科目における企業等連携課題の実施：2件

###### 【項目番号5】 【重点取組項目】

- 〔看護学部・助産学専攻科〕OSCE<sup>2</sup>やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

〔指標〕 〔看護学部〕卒業時の看護実践能力の達成度：3.75（5段階自己評価）

〔指標〕 〔助産学専攻科〕修了時の助産実践能力の到達度：3.25（5段階自己評価）

###### 【項目番号6】

- 〔看護学部〕道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員<sup>3</sup>が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

〔指標〕 専門科目における臨地教員の活用：29科目

###### 【項目番号7】

- 〔大学院博士前期課程〕実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

〔指標〕 〔デザイン研究科〕修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等



[指標] [看護学研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（4段階自己評価）

項目番号8

- ・ [大学院博士後期課程] 1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立的かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

[指標] 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

項目番号9

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援室において学生個々の進路希望に対応した個別サポートを引き続き行う。
- ・ [看護学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

[指標] [デザイン学部] 就職内定率（直近3年間平均）：93%

[指標] [デザイン学部] キャリアガイダンスの開催：10回

[指標] [看護学部] 就職内定率（直近3年間平均）：97%

[指標] [看護学部] キャリア支援対策講座の開催：8回

項目番号10

- ・ 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。
- ・ 2020年4月から運用が開始された修学支援新制度に係る授業料の減額免除を実施する。

[指標] 授業料減額免除基準に該当する学生のうち、経済的理由による退学者：なし

項目番号11

- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、芸術の森キャンパス図書館棟の車いす兼用エレベータを改修する。
- ・ あらゆる差別の解消に向け、障害者や性的指向・性自認等について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

[指標] 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー<sup>4</sup>工事の計画的な執行

[指標] 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

項目番号12

- ・ 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- ・ 本学のメンター<sup>5</sup>制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

[指標] 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

[指標] 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

項目番号13

- ・ 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の両学期において日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

[指標] 日本語能力の向上に役立ったと認識した留学生の割合：80%

4 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

5 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話を行い、気軽に相談できるようにしている。



## II 研究に関する目標を達成するための措置

### 1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号14】 【重点取組項目】

- ・ 学内の競争的資金<sup>6</sup>である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。

〔指標〕 デザインと看護の両分野の連携による研究：6件

#### 【項目番号15】

- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。

〔指標〕 地域特性や地域課題等に関する研究：15件

#### 【項目番号16】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。

〔指標〕 企業や外部機関との連携による課題研究：1件

### 2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号17】

- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。

- ・ 科学研究費助成事業<sup>7</sup>への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。

〔指標〕 教員向け情報提供：3回

〔指標〕 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員<sup>8</sup>の87%

#### 【項目番号18】

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。

〔指標〕 国際学会・国際展示における研究成果の発表：11件

## III 地域貢献に関する目標を達成するための措置

### 1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号19】 【重点取組項目】

- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼<sup>9</sup>の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援<sup>10</sup>等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。

〔指標〕 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件

#### 【項目番号20】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンス・キャリア教育科目「キャリアデザイン」における講座や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者や卒業生を招き、企業を知る機会を設ける。また求人紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。

- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。

6 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

7 科学研究費助成事業

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を段階に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

8 対象教員

休職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である2023年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

9 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

10 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。
- [指標] [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まったと認識した学生の割合：60%
- [指標] [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

#### 項目番号21

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。
- [指標] 職業人向け公開講座の開催：8件

#### 項目番号22

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム<sup>11</sup>の会議を定期的に行い、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。
- [指標] 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

### 2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

#### 項目番号23

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。
- [指標] 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件
- [指標] 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人
- [指標] 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

#### 項目番号24

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼をAITセンターなどで積極的に受け入れる。
- [指標] 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

#### 項目番号25

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

## IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

### 1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

#### 項目番号26

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。
- [指標] 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

#### 項目番号27

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、卒業生・修了生と在学生在が交流する機会を設け、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。
- [指標] 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回
- [指標] 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

<sup>11</sup> 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体



#### 項目番号28

- 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学、国立台中科技大学、パシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート）との交流活動を実施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

#### 項目番号29

- 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」に加え、両分野をAIでつなぐ「DNA」連携の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：345,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

〔指標〕 札幌市市民意識調査における本学の認知度：58.6%

#### 項目番号30

- デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- 機関リポジトリ<sup>12</sup>を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

#### 項目番号31

- 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス<sup>13</sup>の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

## 2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

#### 項目番号32 【重点取組項目】

- 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。
- 事務局において、定例業務の更なる見直しや改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス<sup>14</sup>の向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

#### 項目番号33

- 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

12 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

13 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

14 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。



項目番号34

- ・ 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などの検証及び評価結果の活用など、制度及び運用の見直しや改善を行う。

[指標] 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

項目番号35

- ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD<sup>15</sup>研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

[指標] 教育改善に資するFD研修の実施：7回

[指標] 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

項目番号36

- ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

[指標] 職員を対象としたSD<sup>16</sup>研修への派遣・参加：15回

[指標] 職員を対象としたSD研修の受講：延べ100人

[指標] SD研修報告会の実施：1回

3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

項目番号37

- ・ 2022年度の業務実績や2023年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル<sup>17</sup>による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価<sup>18</sup>機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。

- ・ 一般社団法人大学教育質保証・評価センターに本学の点検評価ポートフォリオを提出し、認証評価を受審する。

[指標] 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

[指標] 認証評価機関の評価：適合

4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

項目番号38

- ・ 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

[指標] 受託研究・共同研究の受入：15件

項目番号39

- ・ 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。

- ・ 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

[指標] 一般管理費の節減額：170万円

5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

項目番号40

- ・ 保全計画に基づき、芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事、芸術の森キャンパスA・B棟衛生設備更新工事实施設計及び桑園キャンパス管理実習棟・体育館ほか屋上防水・外壁改修工事实施設計を適正に実施する。

- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、芸術の森キャンパス図書館棟の移動書架及び車いす兼用エレベータを改修する。

15 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

16 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

17 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

18 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



- ・ 大学内の要修繕箇所のリストに基づき、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、順次可能なものから速やかに修繕等を実施する。

〔指標〕 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

項目番号41

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて学生や教職員等の防災意識を高め、学生や教職員等の安全を確保する体制の強化を図る。
- ・ 全学的な危機管理体制の検証・見直しを行う。避難経路を確保するために必要な校舎周辺の整備や、対策本部体制等の見直し等、可能なものから検討を進める。

〔指標〕 リスク管理に関する研修の実施：1回

〔指標〕 防災訓練の実施：2回

項目番号42

- ・ 施設管理支援システム（CAFM）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。
- ・ 芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事に併せて照明設備に省エネ機器を導入する。

〔指標〕 電気使用量：1,650千kWh以下

〔指標〕 ガス使用量：426千m<sup>3</sup>以下

〔指標〕 水道使用量：9千m<sup>3</sup>以下

項目番号43

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

〔指標〕 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

項目番号44

- ・ コンプライアンス<sup>19</sup>に係る研修（特にハラスメント防止を重点）を行う。
- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の実施：1回

〔指標〕 コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

項目番号45

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。
- ・ 利益相反<sup>20</sup>に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

〔指標〕 研究倫理教育の受講：対象者<sup>21</sup>全員

項目番号46

- ・ 入学者選抜試験（2024年度入試）を円滑に実施する。
- 〔指標〕 新テストに対応した入学者選抜試験の円滑な実施

19 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

20 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

21 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画  
別紙参照

VI 短期借入金の限度額

- 1 短期借入金の限度額  
2億円
- 2 想定される理由  
運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画  
なし。

VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する残余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

IX 施設及び設備に関する計画

- 1 施設整備
  - ・ 芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事  
予算額：145,188千円
  - ・ 芸術の森キャンパスA・B棟ほか衛生設備更新工事实施設計  
予算額：2,885千円
  - ・ 桑園キャンパス管理実習棟・体育館ほか屋上防水・外壁改修工事实施設計  
予算額：1,579千円
- 2 キャンパスの活用等に関するプラン
  - ・ 芸術の森キャンパス図書館エレベータ改修工事  
予算額：14,850千円
  - ・ 芸術の森キャンパス図書館移動書庫改修工事  
予算額：11,990千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

X 人事に関する計画

- 1 教職員の採用
  - ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。（再掲）
  - ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。
- 2 教職員の育成
  - ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。（再掲）
  - ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。（再掲）
  - ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。（再掲）
- 3 ワーク・ライフ・バランスの向上
  - ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。（再掲）
  - ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。（再掲）
  - ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。（再掲）





## 別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

## 1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,554
施設整備費補助金	150
授業料等収入	426
受託研究等収入及び寄附金収入	23
その他収入	22
目的積立金取崩	174
計	2,349
支出	
教育研究経費	441
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23
人件費	1,384
一般管理費	351
施設整備費	150
計	2,349



## 2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,272
教育研究経費	435
受託研究等費	19
人件費	1,384
一般管理費	323
財務費用	1
減価償却費	110
収益の部	
経常収益	2,098
運営費交付金収益	1,535
授業料等収益	475
受託研究等収益	19
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	35
資産見返寄附金戻入	3
資産見返物品受贈額戻入	5
資産見返補助金戻入	0
雑益	22
その他収益	22
純利益（純損失）	△ 174
目的積立金取崩益	174
総利益（総損失）	0

## 3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,494
業務活動による支出	2,112
投資活動による支出	169
財務活動による支出	68
翌年度への繰越金	145
資金収入	2,494
業務活動による収入	2,025
運営費交付金による収入	1,554
授業料及び入学金検定料による収入	426
受託研究等による収入	19
寄付金による収入	4
その他収入	22
投資活動による収入	150
施設費による収入	150
前年度よりの繰越金	319



## 2 2023年度 決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,554	1,558	4	(注1)
施設整備費補助金	150	147	△ 3	
授業料等収入	426	435	9	(注2)
受託研究等収入及び寄附金収入	23	18	△ 5	
補助金収入	—	0	0	
その他収入	21	18	△ 3	
目的積立金取崩	174	174	—	
計	2,349	2,350	1	
支出				
教育研究経費	441	417	△ 24	(注3)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23	19	△ 4	
人件費	1,383	1,351	△ 32	(注3)
一般管理費	351	350	△ 1	
施設整備費	150	147	△ 3	
補助金事業費	0	1	1	
計	2,349	2,285	△ 64	
収入-支出	—	65	65	

(注) 単位未満を四捨五入しているため、金額の合計が一致しない場合がある。

## ○ 予算と決算の差異について

(注1) 札幌市補正予算による配当のため増加しました。

(注2) 在学者数が多かったこと、休学者数が少なかったことから増加しました。

(注3) 教員の欠員等により、減少しました。



### 3 教職員数 (2024年3月31日現在)

#### 1) 所属別教員数 (単位：名)

学	長	1
副	学 長	1
デ	ザ イ ン 学 部	35
看	護 学 部	42
A	I T セ ン タ ー	1
合計		80

#### 2) 職位別教員数 (単位：名)

		教授	准教授	講師 (特任講師 を含む)	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	10	9	6	3	0	28	52
	女	1	5	0	1	0	7	23
看護学部	男	1	2	1	3	0	7	100
	女	10	7	11	7	1	36	88
AITセンター	男	1	0	0	0	0	1	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		23	23	18	14	1	79	263

#### 3) 職員数 (単位：名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	27	0	0	0	0	27
女	46	3	0	0	0	49
合計	73	3	0	0	0	76

### 4 管理職一覧表 (2024年3月31日現在)

役職名	教職員名
学長	中島 秀之
副学長 兼 看護学部長	松浦 和代
デザイン学部長	椎野 亜紀夫
看護学研究科長	菊地 ひろみ
デザイン研究科長	齊藤 雅也
地域連携研究センター長	石井 雅博
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	小野 聡
事務局次長 兼 桑園事務室長	須藤 陽子
事務局総務課長	伊関 洋
事務局経営企画課長	事務局次長事務取扱
事務局地域連携課長	事務局次長事務取扱
事務局学生課長	事務局次長事務取扱
事務局桑園担当課長	福原 啓祐



## 5 学生定員及び学生数（2023年5月1日現在）

## 1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	90	若干名	360
看護学部	85	-	340
合計	175	-	700

専攻科	入学定員	総定員
助産学専攻科	10	10
合計	10	10

研究科	入学定員	総定員
デザイン研究科博士前期課程	18	36
看護学研究科博士前期課程	18	36
合計	36	72

研究科	入学定員	総定員
デザイン研究科博士後期課程	3	9
看護学研究科博士後期課程	3	9
合計	6	18

## 2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	19	76	95
	2学年	31	69	100
	3学年	29	67	96
	4学年	24	74	98
看護学部	1学年	8	79	87
	2学年	5	84	89
	3学年	5	80	85
	4学年	5	75	80
助産学専攻科		0	9	9
合計		126	613	739

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	9	9	18
	2学年	15	13	28
看護学研究科 博士前期課程	1学年	2	4	6
	2学年	6	17	23
合計		32	43	75

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	0	1	1
	2学年	1	0	1
	3学年	6	2	8
看護学研究科 博士後期課程	1学年	0	2	2
	2学年	1	3	4
	3学年	2	12	14
合計		10	20	30



## 3) 科目等履修生・聴講生・研究生

(単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	2	0	2
看護学部	0	0	0	0
合計	0	2	0	2

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	0	0	7	7
看護学研究科	1	0	0	1
合計	1	0	7	8

## 6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

## 7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2024年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			計
	給付型	第1種	第2種	
学部1年生	29	36	30	95
学部2年生	25	46	35	106
学部3年生	18	48	41	107
学部4年生	26	47	31	104
助産学専攻科	—	2	0	2
研究科 (博士前期)	—	16	1	17
研究科 (博士後期)	—	0	0	0
合計	98	195	138	431



## 授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	2/3減免者	半額減免者	1/3免除者	計
学部1年生	前期	18	5	0	11	34
	後期	18	4	1	12	35
学部2年生	前期	10	7	0	12	29
	後期	10	4	0	16	30
学部3年生	前期	7	7	0	14	28
	後期	7	9	1	16	33
学部4年生	前期	12	8	0	16	36
	後期	14	8	0	15	37
助産学専攻科	前期	0	0	1	0	1
	後期	0	0	1	1	2
研究科 (博士前期) 1年生	前期	0	0	2	2	4
	後期	0	0	1	4	5
研究科 (博士前期) 2年生	前期	0	0	1	2	3
	後期	0	0	0	2	2
合計	前期	47	27	4	57	135
	後期	49	25	4	66	144



## 8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

受賞年月	氏名・団体	内容	主催者
2023年 6月	陳 樹全（研究科博士前期課程2年）	「第70回 日本デザイン学会春季研究発表大会」にて『グッドプレゼンテーション賞』を受賞	日本デザイン学会
2023年 7月	中道 千尋（学部1年生）	moyuk SAPPORO内の「きつねeyeタヌキ」で販売する、デジタルメダル（NFT）のデザインコンペティションにて『優秀賞』を受賞	株式会社リヴクリエイティブ
2023年 8月	佐藤 未奈（2022年度学部卒業生）	『第17回 キッズデザイン賞』を受賞	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
2023年 8月	石崎 航琉（研究科博士前期課程1年生）	「エンタテインメントコンピューティング2023」にて『デモ推薦優秀賞（推薦デモ認定）』を受賞	情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会
2023年 10月	石崎 航琉（研究科博士前期課程1年生）	「集英社ゲームクリエイターズCAMP オリジナルゲームコンテスト GAME BBQ vol.2」デモ有り部門にて『優秀賞』を受賞	集英社ゲームクリエイターズCAMP
2023年 10月	上畑 拓欣（学部4年生） 小林 雅果（学部3年生）	「2023年度 日本造園学会北海道支部大会」にて『ポスター発表奨励賞』をそれぞれ受賞	日本造園学会北海道支部
2023年 10月	田渕 あかり（学部3年生） 嶋田 ひのき（学部3年生）	「モルモットが快適に過せる空間デザインコンペ」にて『円山動物園賞』を受賞	札幌市円山動物園・北海道建築士会札幌支部
2023年 11月	日本語デザイン研究会 「しろ」	「Asia Digital Art Award FUKUOKA 2023」学生カテゴリーエンタテインメント（産業応用）部門にて入賞	2023アジアデジタルアート大賞実行委員会事務局
2023年 12月	石崎 航琉（研究科博士前期課程1年生）	「INTERNATIONAL STUDENTS CREATIVE AWARD 2023」にて入選	一般社団法人ナレッジキャピタル
2023年 12月	東野 紗来（学部3年生）	「北海道組新人戦2023」にて『優秀賞』を受賞	建築学生同盟北海道組
2024年 1月	日本語デザイン研究会 「しろ」	「第29回 学生CGコンテスト」ゲーム&インタラクション部門にて入選	公益財団法人画像情報教育振興協会
2024年 2月	倉見 京佳（学部1年生）	「コメダ珈琲店 豆菓子パッケージデザインコンペ」にて『コメダ賞』を受賞	株式会社コメダ
2024年 2月	原 さとみ（学部3年生） 中川 斐世利（学部3年生） 野々川 葉奈（学部3年生）	「冬のくらしアイデアコンテスト」にて『最優秀賞』を受賞	一般社団法人北海道開発技術センター
2024年 3月	狩野 飛翔（学部4年生）	「情報処理学会 第86回全国大会」にて『学生奨励賞』を受賞	一般社団法人情報処理学会





## 9 学生の課外活動

	公認団体
1	バスケットボール部
2	軽音楽部「halo」
3	美術部「noumenon」
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」
5	服飾制作部「Alice」
6	写真映像部「SEED」
7	ものがたり部「デンコラ」
8	茶道部「Cha部」
9	バレーボール部
10	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」
11	ダンスサークル「VOLUME」
12	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」
13	アウトドアサークル「PEAK」
14	バドミントンサークル
15	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」
16	陶芸サークル「ころんと」
17	八百カフェ実行委員会
18	アルティメットサークル「Fly☆Fly」
19	日本語デザイン研究会「しろ」
20	地域交流ボランティア同好会「act」
21	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」
22	手芸同好会「もふもふ」
23	団地同好会「団地さーくる」
24	当事者研究同好会「H&C : Humor and Chillax」
25	ボードゲーム同好会「H.O.M.E」
26	映画同好会「土曜の夜倶楽部」
27	D×N同好会「Co-Large」
28	ヨガ同好会「癒しの会」
29	テニス同好会「SCUテニス倶楽部」
30	学生コミュニティ同好会「Crepe」
31	作画研究会
32	フィットネス同好会「Rep」



## 10 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生等の推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

### 2023年度

役員	(会 長) 高橋万里香 (副会長) 上原 佳子 (理 事) 男澤 誠一、嶋田 直美、三浦 祐大、三原 輝幸、遠藤 毅、前川めぐみ、 松永眞由美、佐藤 麦穂 (監 事) 平井 賢二、行天二季子
主な事業	・課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策等） ・後援会報「SSA News」発行、後援会WEBページ情報発信 ・卒業記念事業
後援会費	40,000円（ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

## 11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2023年4月	2023年度学生生活ハンドブック
2023年4月	2023年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
2023年4月	札幌市立大学後援会 会報2022 (SSA NEWS)
2023年5月	令和6年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
2023年5月	令和6年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
2023年5月	令和6年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
2023年5月	2024大学案内
2023年5月	令和6年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
2023年5月	令和6年度学生募集要項（助産学専攻科）
2023年6月	令和6年度入学選抜要項（デザイン学部・看護学部）
2023年6月	令和6年度学生募集要項（デザイン学部 総合型選抜）
2023年6月	令和6年度学生募集要項（看護学部 社会人特別選抜）
2023年6月	令和6年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
2023年7月	札幌市立大学 研究・活動事例集2023
2023年7月	札幌市立大学 教員研究紹介2023
2023年8月	令和6年度学生募集要項（デザイン学部 特別選抜）
2023年9月	令和6年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 学校推薦型選抜）
2023年9月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2023 札幌市立大学研究論文集第17巻第1号
2023年11月	令和6年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
2023年11月	令和6年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
2023年11月	SCUZINE vol.6
2023年11月	令和6年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
2023年12月	令和7年度デザイン学部3年次編入学生募集要項
2024年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第17号
2023年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2023 図録）



## 12 施設

### 1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(2023年4月1日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	82	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
AITセンター	133	133	0	0

### 2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス・A I Tセンター (施設配置図・校舎配置図)

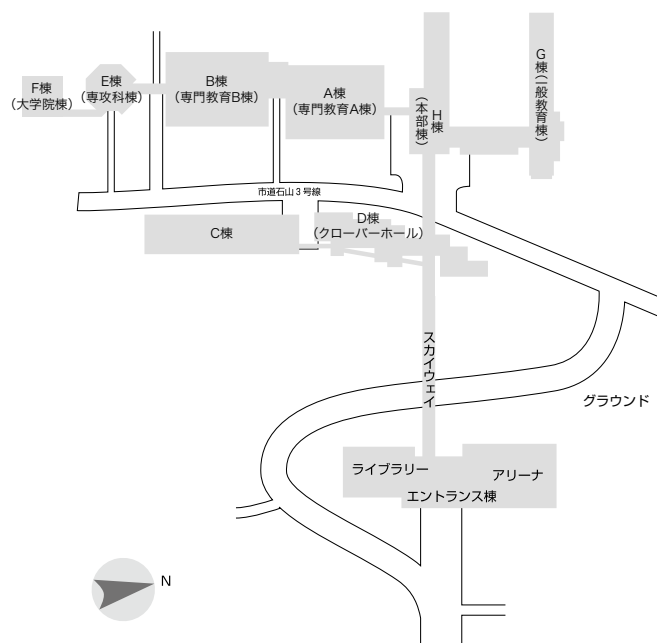
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



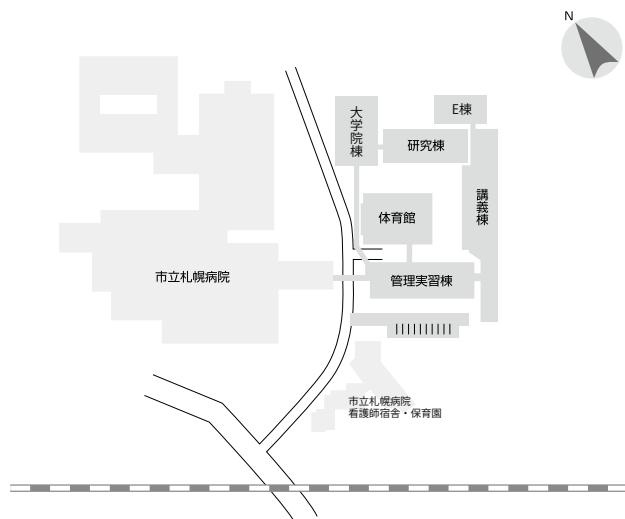
桑園キャンパス

〒060-0011

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





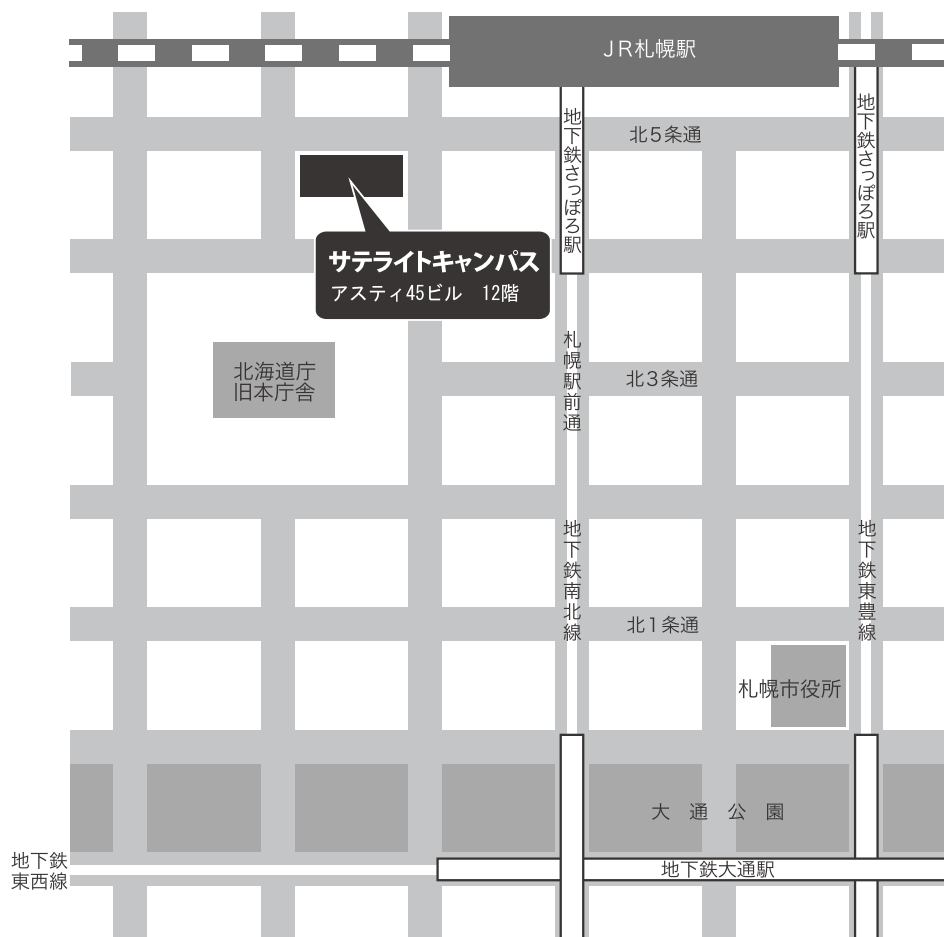
サテライトキャンパス

〒060-0004

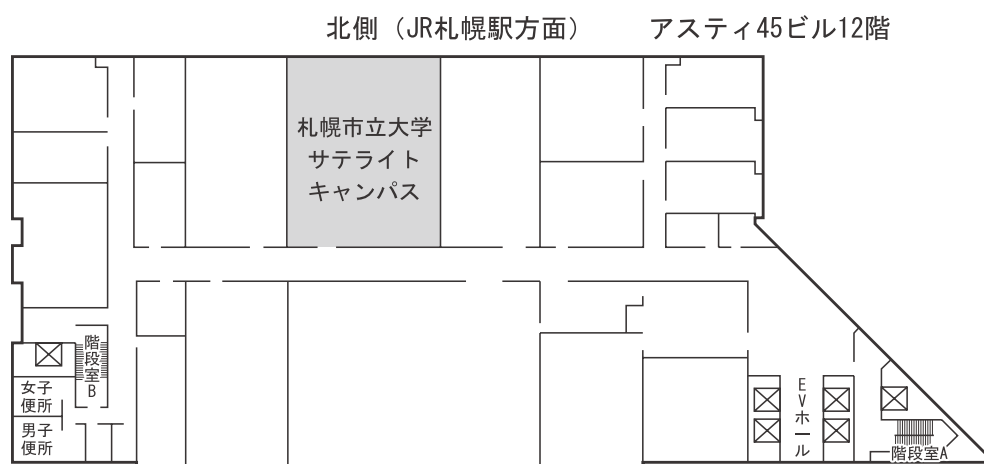
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





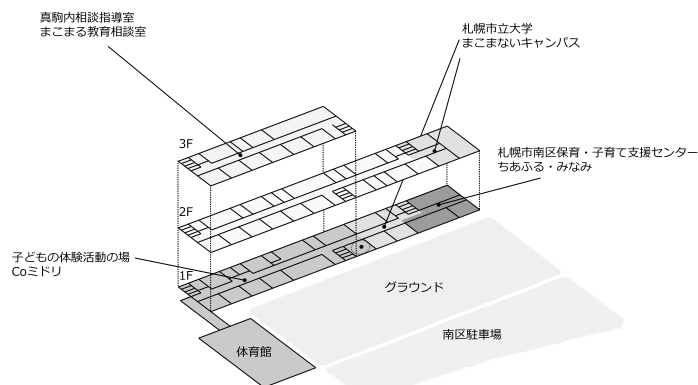
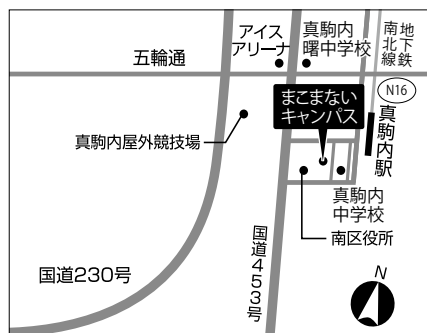
まこまないキャンパス

〒005-0014

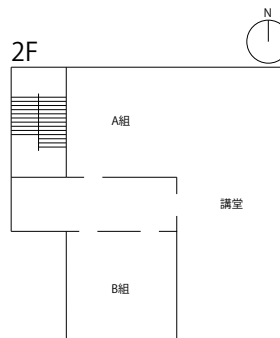
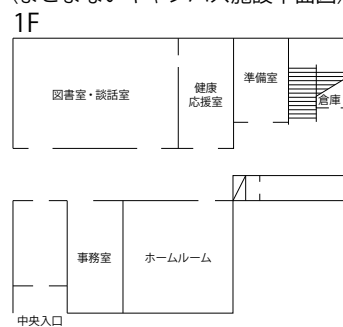
北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676



〈まこまないキャンパス施設平面図〉



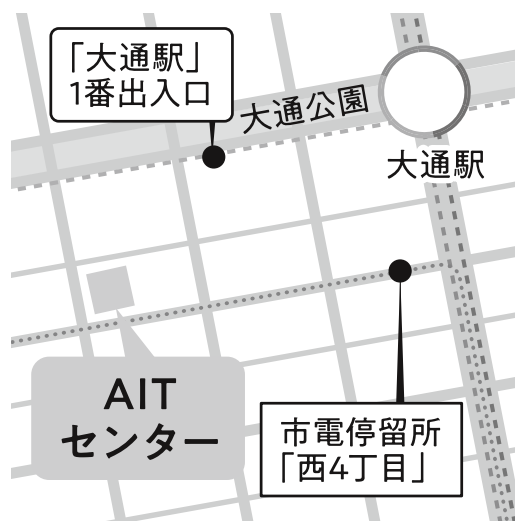
AITセンター

〒060-0061

北海道札幌市中央区南1条西6丁目20番1 ジョブキタビル9階

TEL：011-522-6186

FAX：011-522-6187



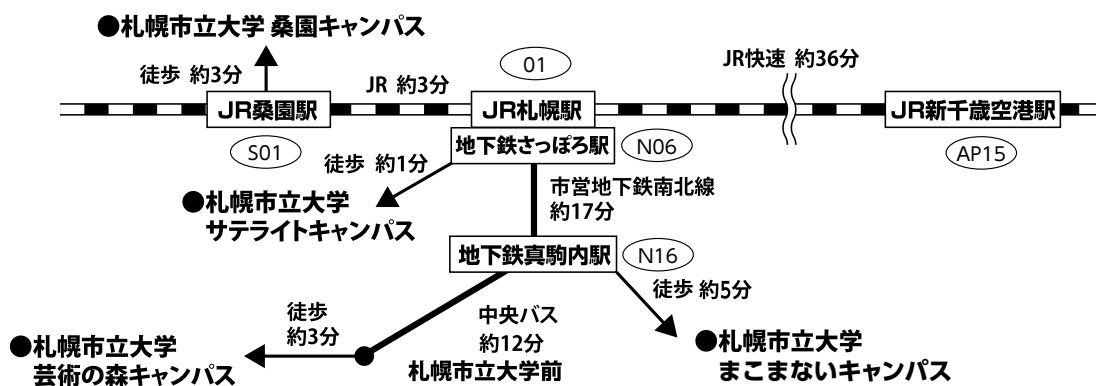


## 13 大学へのアクセス

### 1) アクセスマップ



### 2) 交通案内





14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞:後藤優太・首藤翠(デザイン学部 第4期生)  
作曲:堀 彩菜(デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける  
新たな希望をたずさえて  
さあ飛び出そう  
翼広げて  
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち  
これからは別々の道を往く  
強い風に吹かれ  
立ち止まりかけても  
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある  
僕らには支えあえる手がある  
同じ空の下には今も  
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある  
僕らには支えあえる手がある  
あの地平の彼方にはきっと  
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある  
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある  
その壁の向こうにはきっと  
君を待つ世界がある

『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤 優太・首藤 翠  
作曲: 堀 彩菜

The musical score is presented in two columns. The left column contains the vocal line and piano accompaniment for the first two verses. The right column contains the piano accompaniment for the first two verses. The score includes various musical notations such as treble and bass clefs, time signatures, and dynamic markings like 'mf' and 'f'. Section markers A, B, and C are placed above the corresponding musical phrases. The lyrics are written in Japanese below the vocal line.